

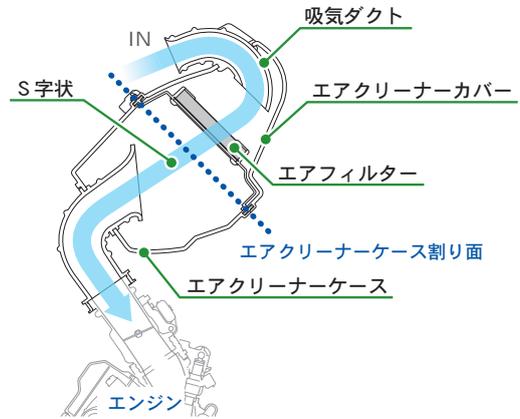
●低・中回転域での力強い走りと、コンパクトレイアウトを追求 エンジン出願件数 8件(いずれも出願中未公開)

■低・中回転域での力強いトルクを実現する吸気レイアウト

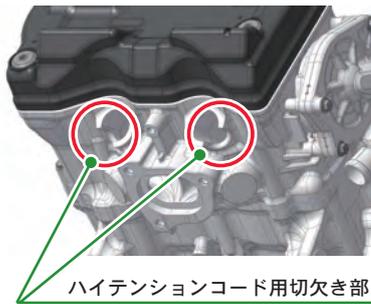
①空気の流れが、上下に長いS字状となるようにエアクリナー回りをレイアウトしました。前後長を詰めてコンパクトにしながらも吸気経路を長く確保し、吸気慣性を最適化。低・中回転域での力強い走りを実現しています。

②吸気ダクトをエアクリナーカバーに沿って延ばし、一体的かつ連続的に形成しました。エアクリナーと吸気ダクトを段差の小さい連続形状とし、吸気抵抗を軽減するとともにコンパクトに仕上げました。

③エアフィルターをエアクリナーケース割り面より高い位置に配置しました。クリーンサイドの容量を十分確保することで、さらに力強いトルクを実現しています。また、エアフィルターのメンテナンスも容易です。

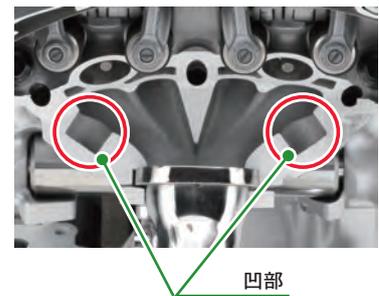


■シリンダーヘッドの
ハイテンションコード収容部



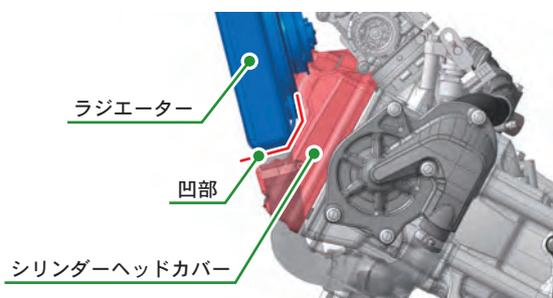
シリンダーヘッドに、ハイテンションコードを収容する切欠き部を設置しています。シリンダーヘッドからのハイテンションコードの突出量を小さくしています。

■排気ポートの側壁の
排気チャンバーとなる凹部



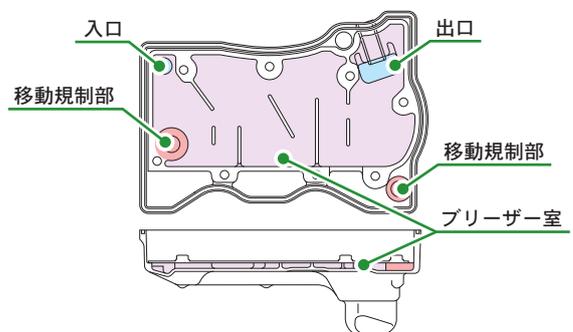
ヘッド内集合エキゾーストポートに、凹部を形成しています。力強いトルクを生み出すために、CAE解析によって、排気の脈動を最適化する形状としました。

■シリンダーヘッドカバーと
ラジエーターのコンパクトな配置



シリンダーヘッドカバーに凹部を設けてラジエーターを入り込ませています。ラジエーターとエンジンの距離を極限まで詰めてコンパクトに配置しました。

■ヘッドカバー内の薄型ブリーザー室



シリンダーヘッドカバーのブリーザー通路の出入口の下方にオイルの移動規制部を形成しました。シリンダーヘッドカバー頂部の隙間に、オイルを分離できるブリーザー室を薄く形成し、エンジンのヘッドスペースをコンパクトにしました。